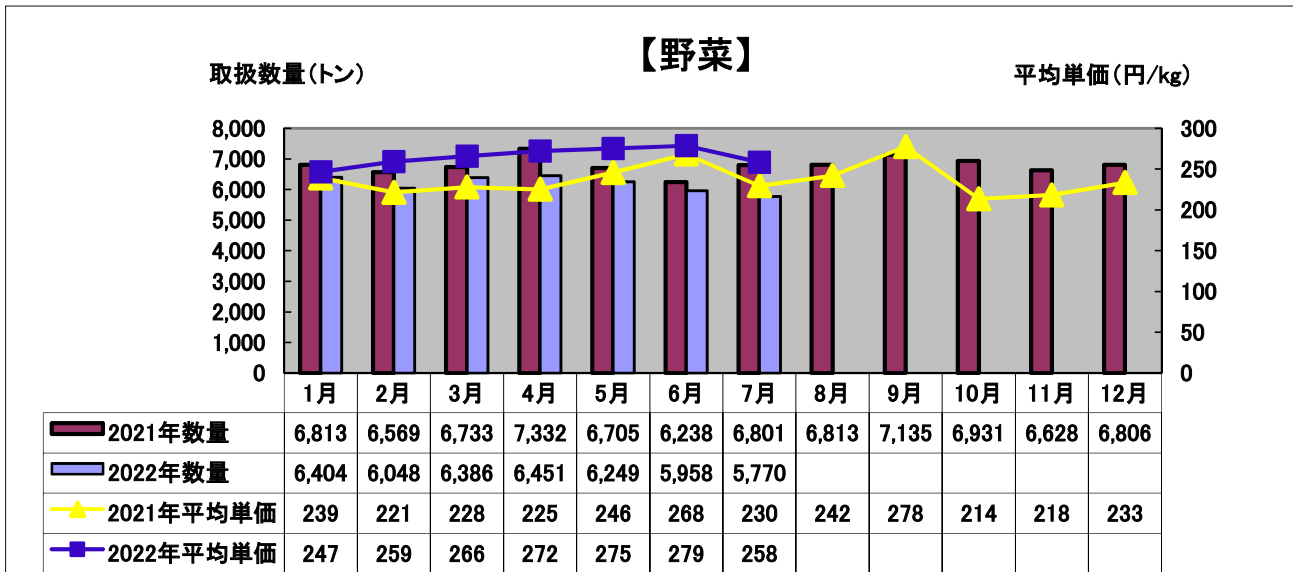
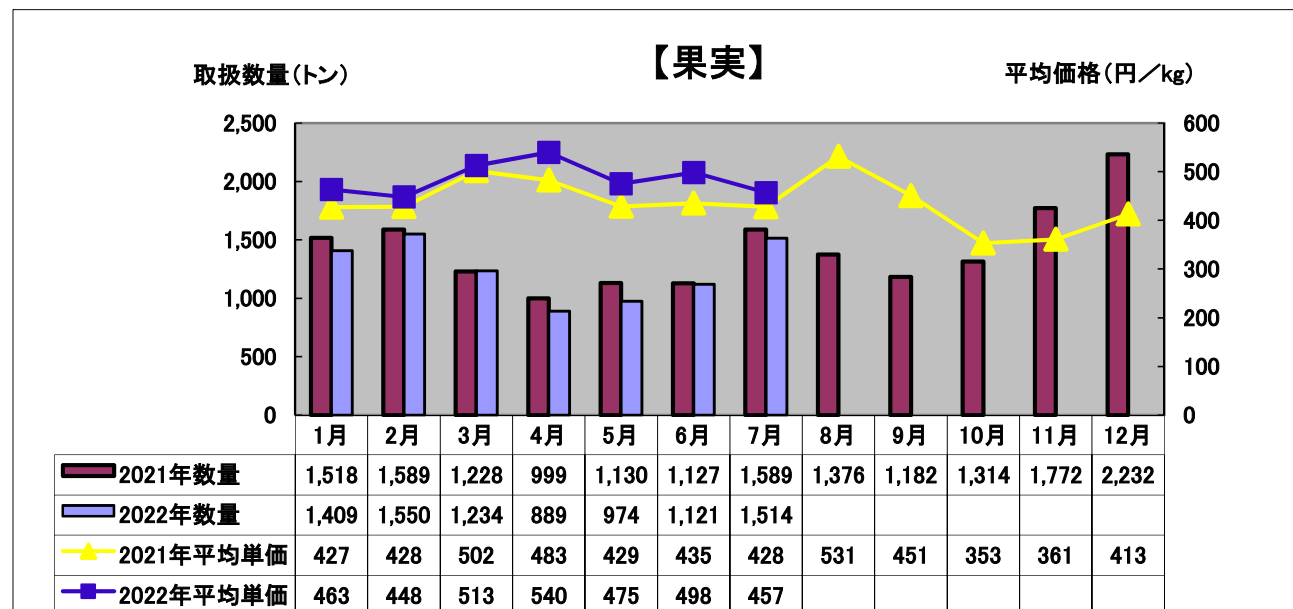


令和4年(2022年)7月 青果部 種類別市況



7月の野菜類は、記録的な猛暑や戻り梅雨の影響により消費が伸び悩みました。また、生育不足にも悪影響を及ぼし、数量は減少しました。単価は高く推移しました。

前年比数量 84.8%、単価 112.6%で終了しました。



7月の果実類は、主力の桃、メロンが作付け面積減と天候不良の影響で数量減となりました。西瓜は旺盛な需要に支えられ、地元神奈川県産を中心に堅調な相場で推移しました。全体的な数量はやや減少しました。

平均単価については、やや高く推移しました。